２０２４前期学校評価だより

いきいきとのびのびとうつくしく

名古屋市立稲生小学校

ホームページはこちら

平素は本校教育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
１学期に行った WEB アンケートの結果を集約したものです。「はい」「どちらかといえば、はい」の２項目の数値を合算しました。今回のアンケート教師・児童・保護者それぞれの集計人数を１００％としたときの数値としています。
なお、項目内容は昨年度までと同じです。

回答率　児童：９９％　保護者：９０％　教職員：１００％　Ｒ５．７月調査　Ｒ６．７月調査

Ｑ１．学習について

児童　：あなたは、学校の授業で、進んで学習に取り組むことができますか。
教職員：児童は、学校の授業において、進んで学習に取り組むことができますか。
児童　：あなたは、お家で、進んで宿題や自主勉強に取り組むことができますか。
保護者：お子様は、ご家庭において、進んで宿題や自主勉強に取り組むことができますか。

		R5	R6
学校	児童	92.3%	92.2%
	教職員	88.0%	100%
家庭	児童	78.3%	70.3%
	保護者	54.5%	81%

児童の学校での数値は例年と変わりなく、９割を超えました。保護者の数値は大幅に上昇し、児童が家庭で進んで学習に取り組んでいることが分かりました。今後も子どもたちの「やる気」を大切にしながら、学校、家庭問わず主体的に学習に取り組むことのできるように課題を工夫していきます。

Ｑ２．伝え合うことについて

児童　：あなたは、学校の授業で、友達と思いや考えを伝え合うことができますか。
教職員：児童は、学校の授業において、友達と思いや考えを伝え合うことができますか。
児童　：あなたは、お家で、家の人や友達と思いや考えを伝え合うことができますか。
保護者：お子様は、ご家庭において、家の人や友達と思いや考えを伝え合うことができますか。

		R5	R6
学校	児童	70.7%	90.6%
	教職員	96.0%	91.7%
家庭	児童	83.2%	89.4%
	保護者	44.6%	91%

児童の学校での数値は９割を超えました。学校でも家庭でも９割近い数値があり、本年度の学校努力点のキーワードでもある「協働」を軸にした学習の成果が表れていると思います。
今後も、児童が自分の考えを「伝えたい」と思えるような課題設定や自信をもって伝えることができる学級の雰囲気を目指していきたいと思います。

Q３．粘り強さについて

児童　：あなたは、学校の授業で、最後まで粘り強く取り組むことができますか。
教職員：児童は、学校の授業において、最後まで粘り強く取り組むことができますか。
児童　：あなたは、お家で、物事に取り組むとき最後まで粘り強く取り組むことができますか。
保護者：お子様は、ご家庭において、物事に取り組むとき最後まで粘り強く取り組むことができますか。

		R5	R6
学校	児童	92.4%	93.1%
	教職員	80.0%	91.7%
家庭	児童	86.9%	82.9%
	保護者	61.5%	79%

学校、家庭の双方において高い数値となりました。児童の気持ちに寄り添い、目標をしっかりと決めて学習に取り組むようにしている成果だと思います。今後ご家庭での自主性・自立性が高まるように、学習環境の工夫や、ご家庭でのお声掛けをよろしくお願いします。

Q４．運動について

児童　：あなたは、学校で、身体を動かしたり、運動をしたりしますか。
教職員：児童は、学校において、身体を動かしたり、運動をしたりしますか。
児童　：あなたは、お家で、身体を動かしたり、運動をしたりしますか。
保護者：お子様は、ご家庭において、身体を動かしたり、運動をしたりしますか。

		R5	R6
学校	児童	89.7%	76.9%
	教職員	84.0%	91.7%
家庭	児童	80.9%	72.7%
	保護者	31.5%	73%

児童の学校での数値は昨年度末よりも低い結果となりました。猛暑の続く中でのアンケートであったため、外で体を動かしたり、遊べなかったりしたことが原因であったと思います。多くの児童が体を動かすことを好んでいるので、後期は長縄大会や学年集会などの機会を利用し、体を動かすことへの意欲を高めていきたいと思います。

Q５．健康や安全について

児童　：あなたは、学校で、健康や安全を意識して生活することができますか。
教職員：児童は、学校において、健康や安全を意識して生活することができますか。
児童　：あなたは、お家で、健康や安全を意識して生活することができますか。
保護者：お子様は、ご家庭において、健康や安全を意識して生活することができますか。

		R5	R6
学校	児童	93.5%	93.9%
	教職員	76.0%	91.7%
家庭	児童	91.3%	91%
	保護者	49.6%	89%

前期（４～９月）における児童の学校生活の様子を振り返ると、感染症だけでなく、校内で怪我をする場面も少なからずありました。しかし、昨年度に比べ、児童・教職員・保護者と高い数値であることから、健康や安全についての意識は高まってきていると思います。今後は、高まった意識を行動に移していけるように指導を進めていきたいと思います。

Q６．共感的な気持ちについて

児童　：あなたは、学校で、友達の気持ちを考えて、話したり行動したりすることができますか。
教職員：児童は、学校において、相手の気持ちを考えて、話したり行動したりすることができますか。
児童　：あなたは、お家で、家族や友達の気持ちを考えて、話したり行動したりすることができますか。
保護者：お子様は、ご家庭において、家族や友達の気持ちを考えて、話したり行動したりすることができますか。

		R5	R6
学校	児童	85.3%	92.3%
	教職員	80.0%	87.5%
家庭	児童	76.6%	87.4%
	保護者	54.9%	87%

友達の気持ちを考えて、話したり行動したりすることができると感じている児童が学校でも家庭でも増えました。授業の中でも友達と対話する時間が増え、共感的に話をすることができるようになってきていると思います。今後も、相手の立場を共感的に理解し、笑顔で生活できるように指導を進めていきたいと思います。

Q７．挨拶や手伝いについて

児童　：あなたは、学校で、進んで挨拶をしたり、手伝いをしたりすることができますか。
教職員：児童は、学校において、進んで挨拶をしたり、手伝いをしたりすることができますか。
児童　：あなたは、お家で、進んで挨拶をしたり、手伝いをしたりすることができますか。
保護者：お子様は、ご家庭において、進んで挨拶をしたり、手伝いをしたりすることができますか。

		R5	R6
学校	児童	84.6%	87.4%
	教職員	60.0%	79.2%
家庭	児童	84.8%	81.7%
	保護者	53.7%	75%

教職員・保護者の数値が昨年より上昇しました。これは、児童がしっかりと挨拶や手伝いをしている結果であると考えます。挨拶は互いを認め合うことであることを伝えるとともに、挨拶、手伝いについてご家庭や学校でも褒め、さらに伸ばしていきます。

Q８．災害時の行動について

児童　：あなたは、学校で、災害が起きた時に、自分が取るべき行動を理解していますか。
教職員：児童は、学校において、災害が起きた時に、自分が取るべき行動を理解していますか。
児童　：あなたは、お家で、災害が起きた時に、自分が取るべき行動や避難場所を理解していますか。
保護者：お子様は、ご家庭において、災害が起きた時に、自分が取るべき行動や避難場所を理解していますか。

		R5	R6
学校	児童	91.3%	95.9%
	教職員	76.0%	100%
家庭	児童	88.6%	91.3%
	保護者	58.7%	82%

教職員・保護者の数値が昨年より大幅に上昇しました。児童は、学期に行う避難訓練が訓練の訓練ではないことをしっかり意識して災害時の行動について学んでいると思います。これからも、自分たちにもできる防災対策について考える場面を多く設けたり、自分の身は自分で守るという意識を高めたりしたいと考えます。ご家庭でも防災について話し合っていただけたらと思います。

Q９．コミュニケーションについて

児童　：あなたは、学校やお家での出来事について、先生や友達に進んで話しますか。
教職員：児童は、学校やお家での出来事について、先生や友達に進んで話しますか。
児童　：あなたは、学校での出来事について、家の人に進んで話しますか。
保護者：お子様は、学校での出来事について、保護者の方に進んで話しますか。

		R5	R6
学校	児童	79.3%	85.4%
	教職員	88.0%	95.9%
家庭	児童	83.7%	83.8%
	保護者	40.6%	80%

児童・教職員・保護者のどの項目でも昨年より数値が上昇しました。児童に、相談相手や話し相手が多くいることが分かりました。

学校では、担任だけでなく、スクールカウンセラーや他の教職員など、児童が話しやすいと感じる相手にいつでも話せるような体制をとっています。今後も、たくさんの目と耳で児童の心と話を受け止め、児童にとって、「話したいと思う人がいる学校」を目指します。

また、児童が家に帰った後、家の人に「今日学校で〇〇〇があったよ」と話したくなるような、楽しい学校生活を送ることができるよう、温かく児童たちを見守っていきたいと思います。ご家庭でも学校でのことを話題にしていただけたらと思います。

☆　お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。
アンケート結果や皆様からのご意見を基に、子ども達が笑顔で登校し、実りある学習ができる稲生小学校であるべく、教職員一同、尽力していきます。
今後も、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。